

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	福島県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	塙町立塙小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	2	14	20
児童数	55	47	56	57	60	50	2	327	

研究の概要

1. 研究主題

自ら学び、確かな学力を身につける児童の育成 ~個に応じた発展的・補足的な学習の指導を通して~
---

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

実施学年：全学年 教科：算数科 (選択した理由) 今日の情報化社会において、様々な情報に適切に対応したり、情報を活用して問題解決をしたりする能力を育てるために、算数科の果たす役割は大きい。また、算数科は、系統性が明確であるので、児童一人一人のきめ細かな実態把握に基づく発展的・補足的な学習に適している。上記の理由から、算数科を選択した。
---

(2) 年次ごとの計画

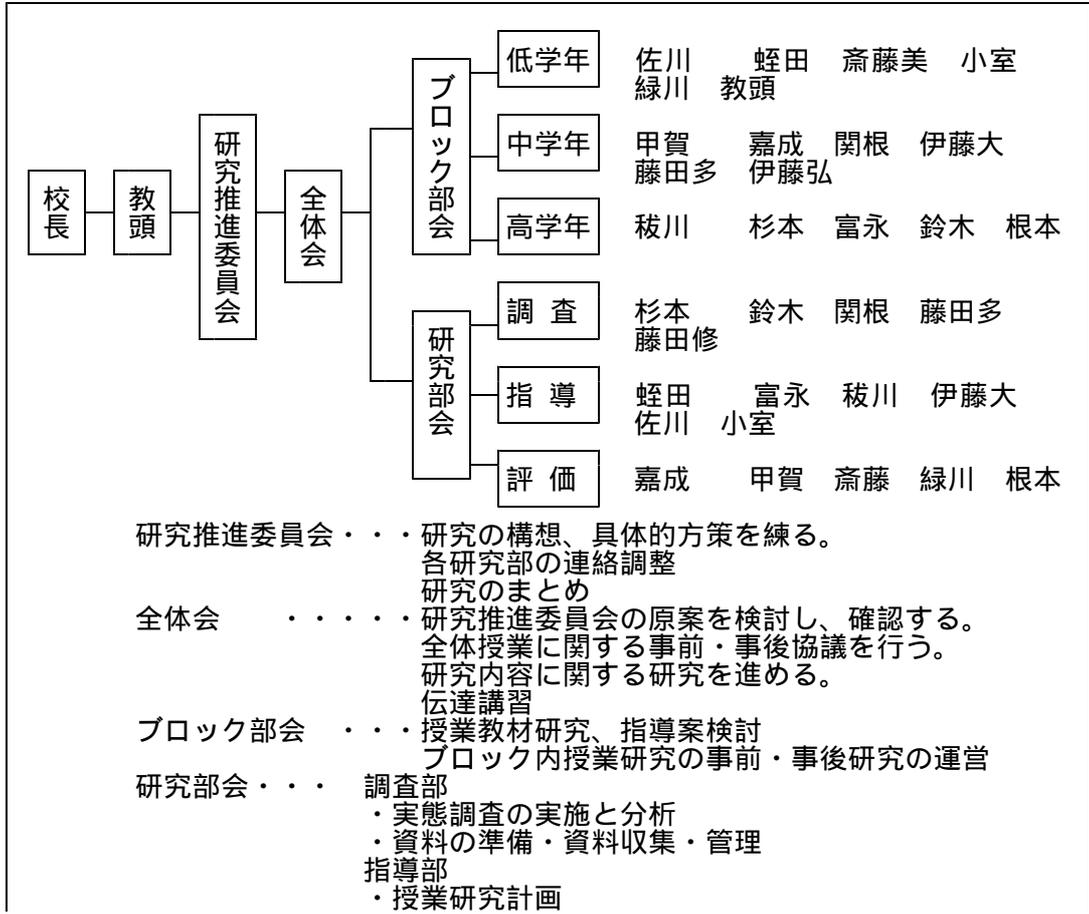
平成14年度	テーマ 自ら学び、確かな学力を身につける児童の育成 ~個に応じた発展的・補足的な学習の指導を通して~ 仮説 算数科において、基礎的・基本的な内容の定着を図る補足的な指導や支援の工夫を図り、学んだことを生かし発展的に考える力を育てる指導や工夫をすれば、自ら学ぶ意欲が高まり、確かな学力を身につけた児童が育成されるであろう。 研究内容・方法 基礎的・基本的な内容の定着を図る指導や支援の工夫 学んだことを生かし、発展的に考える力を育てる指導や支援の工夫 日常指導の工夫 先進校視察、要請訪問等を通して、研究の進め方についての研修を行う。 「基礎・基本」についての共通理解を図り、基礎的・基本的な内容の定着を図る指導や支援のあり方についての研究を中心に実践する。
--------	--

平成15年度	テーマ 自ら学び、確かな学力を身につける児童の育成 ~個に応じた発展的・補足的な学習の指導を通して~ 仮説 算数科において、一人ひとりの学習状況を的確にとらえ、個に応じた発展的・補足的な学習の指導や支援の工夫をすれば、自ら学ぶ意欲が高まり、確かな学力を身につけた児童が育成されるであろう。 研究内容・方法 授業を支える基盤整備 指導体制の整備・工夫 達成基準の作成
--------	--

授業実践研究  
 授業実践をとおして、次の点を明らかにする。  
 指導に生きる評価方法  
 個に応じた補足的・発展的な学習指導の工夫  
 ・ TTによる指導の効果  
 ・ 習熟度別学習の効果  
 ・ 教材開発の工夫  
 ・ その他  
 日常指導の工夫  
 ノート指導の工夫  
 基礎・基本の定着を図る取り組み  
 学習環境の整備

平成16年度  
 テーマ  
 自ら学び、確かな学力を身につける児童の育成  
 ~個に応じた発展的・補足的な学習の指導を通して~  
 仮説  
 算数科において、一人ひとりの学習状況を的確にとらえ、個に応じた発展的な学習・補足的な学習の指導や支援の工夫をすれば、自ら学ぶ意欲が高まり、確かな学力を身につけた児童が育成されるであろう。  
 研究内容・方法  
 授業を支える基盤整備  
 授業実践研究  
 日常指導の工夫  
 平成16年度は、研究のまとめの年となる。平成15年度までの成果と課題を土台とし、必要に応じて研究仮説・研究内容等を修正しつつ、研究を深化させていく。

(3) 研究推進体制



- ・指導案形式の研究
  - ・指導過程と指導方法の研究
  - ・仮説に迫るための手だての研究
  - ・授業以外での日常の指導方法の開発
- 評価部
- ・学習内容の中の基礎基本・発展的な内容の研究
  - ・評価方法の研究

## 平成15年度の研究成果及び今後の課題

### 1. 研究成果

#### (1) 学年末テストの実施から

##### ◆ 学年まよめのテスト(ワークテスト)の結果

全校で「知識・理解」は、(88% 89%)、「表現・処理」は(90% 90%)、「数学的な考え方」は(81% 83%)の達成率である。「知識・理解」「表現・処理」は、十分に達成しており、「数学的な考え方」も向上してきている。

#### (2) 研究実践で明らかになったこと

指導に生きる評価の工夫について

個を生かす評価と指導の一体化ということを念頭に置きながら、次の評価方法の有効性を確かめた。

ア 手軽に評価ができ、継続的に累積できる評価として、座席表・評価一覧表を活用した評価

イ 一人ひとりの理解度・定着度を評価し、つまずきをとらえられる評価として、チェックテストの活用

ウ 達成基準を生かした自己評価

TTによる指導の効果について

次のことが明らかとなった。

ア 多様な学習形態を積極的に取り入れることができる。

イ 一斉指導では十分に対応できない個人差に対応することができる。

ウ きめ細かな評価と支援ができる。

エ 複数の教師による学習計画や学習材の検討ができる。

習熟度別学習の効果について

次のことが明らかとなった。

ア 児童の実態に合った課題設定をすることができる。

イ 自分の力に合った学習なので安心して学習することができ、一人ひとりがめあてを達成することができる。

ウ 比較的等質集団なので学習を効率的に進めることができる。

教材開発の工夫について

次の点に配慮した教材開発は、確かな学力を身につけさせる上で有効であった。

ア 数学的な考え方を伸ばす発展的な学習のための教材の開発

イ 個々の「つまずき」を克服する補充的な学習のための教材の開発

#### (3) 情意面の変容

「算数が好き・どちらかというところ好き」な児童は、高い割合を維持している。好きな理由として、「答えを出すまで考える」や「生活の中で使える」が見られるようになった。

単元末に、補充・習熟・発展のコース別学習を取り入れる意義を見いだすことができる。

TTにより、「算数が分かるようになった」と受け止められている。

コース別学習も、「自分のペースで進められる」という理由などから好意的に受け止められている。

### 2. 今後の課題

今後、次のことに取り組んでいきたい。

(1) 自ら学ぶ力(自己教育力)を育成する観点から、『自己評価力』を高めるための指導・支援を工夫する。

(2) 今年度行ってきた習熟度別学習をより効果的に行えるよう、習熟度別学習が有効な単元を年間指導計画に明示する。

(3) 基礎・基本を確実に定着させるために、朝の時間や放課後の時間の見直しと指導体制の整備をする。

(4) 開発した教材等の管理とその効果的な活用のあり方を明確にする。

学力等把握のための学校としての取組

- 算数の学習に関するアンケート（6月、12月に実施）
  - ◆意欲・関心、得意な領域、TTの効果等
- 学年末テストの実施（2月）
  - ◆「知識・理解」「表現・処理」「数学的な考え方」の達成度
- 定期的な学力調査の実施（年1回）

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- 授業研究会**
- ◆日時 平成14年10月4日（金）13：45～16：30
  - ◆場所 東白川郡埴町立埴小学校
  - ◆テーマ 「確かな学力を向上させるための学校の取り組み」
  - ◆対象 東白川郡埴町内小・中学校教職員
- 教育講演会**
- ◆日時 平成15年2月21日（金）15：00～16：30
  - ◆場所 東白川郡埴町公民館
  - ◆テーマ 「確かな学力を向上させるための学校の取り組み」
  - ◆対象 東白川郡内幼・小・中・高等学校教職員
- 学力向上フロンティア事業研究発表会（中間）**
- ◆日時 平成15年10月28日（火）13：30～16：30
  - ◆場所 東白川郡埴町立埴小学校
  - ◆テーマ 「自ら学び、確かな学力を身につける児童の育成」
  - ◆対象 県南管内幼・小・中・高 教職員 他
- 研究集録作成・配布**
- ◆時期 平成16年3月
  - ◆対象 県南管内小・中学校
- 学力向上フロンティア事業研究発表会 ～予定～**
- ◆日時 平成16年10月28日（木）9：00～16：00
  - ◆場所 東白川郡埴町立埴小学校
  - ◆テーマ 「自ら学び、確かな学力を身につける児童の育成」
  - ◆対象 県南管内幼・小・中・高 教職員 他

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- |                      |                              |   |                   |
|----------------------|------------------------------|---|-------------------|
| 【新規校・継続校】            | 15年度からの新規校                   | ↳ | 14年度からの継続校        |
| 【学校規模】               | 6学級以下<br>↳ 13～18学級<br>25学級以上 |   | 7～12学級<br>19～24学級 |
| 【指導体制】               | ↳ 少人数指導<br>一部教科担任制           | ↳ | T・Tによる指導<br>その他   |
| 【研究教科】               | 国語<br>生活<br>体育               |   | 社会<br>音楽<br>その他   |
|                      |                              | ↳ | 算数<br>図画工作        |
|                      |                              |   | 理科<br>家庭          |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | ↳                            | 有 | 無                 |